



2022年6月28日

各位

会社名 JKホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 青木 慶一郎
(コード：9896、東証プライム市場)
問合せ先 グループ経営企画室長 吉田 輝
(TEL. 03-5534-3803)

「気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD)」提言への賛同 及びサステナビリティ推進態勢の整備に関するお知らせ

当社は、本日の取締役会において、「気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD)」提言への賛同を決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。今後は、TCFD 提言に基づき、気候変動が事業に与える影響の分析を行うとともに、情報開示の充実に努めてまいります。

また、社会の持続的な成長と中長期的な企業価値創出を図ることを目的として、サステナビリティ推進態勢の整備を進めます。その一環として、「サステナビリティ推進基本方針」の策定及びサステナビリティ経営推進母体としての「サステナビリティ委員会」の設置を行います。今後、当社グループが掲げる企業理念「快適で豊かな住環境の創造」の達成と様々な社会課題の解決に向け、サステナビリティ推進基本方針に基づき、事業展開をしてまいります。

記

1. TCFD 提言への賛同

当社グループは合板の製造販売、木材の加工販売、建材及び住宅機器等の卸売を主要な業務領域とし、取扱製品が多くが国内外における森林資源活用を起点としていることから、安定的なサプライチェーン構築のためにも地球環境の保全が重要であると認識し、重要課題の一つとして気候変動を特定しています。

今後は重要課題への取り組みを通じて気候変動が当社に与える影響を的確に把握し、TCFD 提言に賛同することを表明するとともに、同機関の提言に基づいた情報開示を強化してまいります。

2. サステナビリティ推進態勢の整備

2-1. サステナビリティ推進基本方針

JKホールディングスグループは、企業理念「快適で豊かな住環境の創造」のもと、地球全体を「住まい」と捉え、快適な住まいと豊かな暮らしの実現を目指します。森林資源の活用を中心とする事業を通して、森を育み木を活かす循環型社会における人と自然の共生を目指し、人・社会・地球の豊かな未来を描きます。

私たちは、建築資材の安定供給や、合板の製造販売、木材の加工販売、暮らし方の提案、といった事業活動を通じ、笑顔が生まれる街づくりに貢献します。同時に、グループ間の連携強化やダイバーシティの更なる推進などにも取り組み、「企業は人 人は心」の想いを忘れず、社員、取引先様、お客様をはじめ「住まい」に関わるすべての人々を幸せにします。

私たちは、サステナビリティに関連する重要課題（マテリアリティ）について、ESG・SDGsの各課題に対応する個別方針を策定し、積極的・能動的に取り組むことで、会社を持続的に成長させ、中長期的な企業価値を創出します。

2-2. サステナビリティ委員会の設置

(1) 委員会の役割

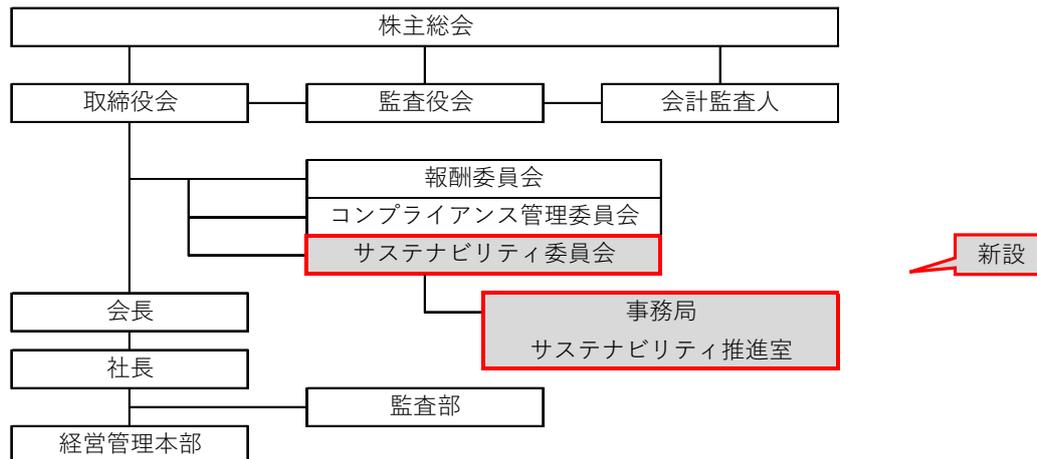
サステナビリティ推進基本方針に基づき、当社グループにおけるサステナビリティ経営を実践し、推進する機関として、本委員会を設置します。当社におけるマテリアリティ（事業活動における重要課題）への取り組みの進捗の把握や評価等を実施し、適宜、取締役会へ報告を行います。

(2) 委員会の構成

本委員会は代表取締役社長が委員長を務め、委員は、委員長が指名する者により構成します。

(3) 推進体制

サステナビリティ委員会を設置するとともに、本委員会の事務局を務め、サステナビリティを巡る課題への取り組みを推進する実行部隊として、サステナビリティ推進室を設置します。



(4) 実施日

本委員会及び本推進室は、2022年7月1日より始動します。

以上